

# かすかべ KASUKABE 議会だより

2024(令和6)年2月1日発行  
発行・埼玉県春日部市議会  
編集・広報広聴委員会  
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第74号

謹んで新春のおよろこびを申し上げます  
春日部市議会議員一同



新庁舎完成式典 (令和5年12月16日開催)



次の定例会は  
2月14日(水)開会予定です

## 主な内容

- 主な議案の紹介…………… 2～3 ページ
- 審議結果…………… 3～5 ページ
- 一般質問…………… 6～14 ページ
- 閉会中の委員会活動… 15～16 ページ

# 「地区センター条例の制定」を可決

## 「春日部市地区センター条例の制定についてに対する附帯決議」、

## 「認知症との共生社会の実現を求める意見書」、

## 「学校給食費の無償化を求める意見書」を可決

### 地区センター条例の制定を可決

春日部市地区センターを設置することに伴い、条例を制定するものです。

設置の目的は、地域住民による自主的なまちづくり活動を支援することにより、地域住民相互の交流を深め、地域コミュニティの活性化を図るため、地区センターを設置するものです。

この条例の施行期日は、令和6年4月1日からとするものです。

【全員一致で原案可決】

### 討論

運用方法をしっかりと考慮した上での運用を強く要望し賛成（自民・無所属の会）

条例の条文に関しては、地区センターが設置されることで、市民の利便性向上が期待

されることも含まれていますので、何も言うことはありませんが、問題があるのは運用方法についてです。運用方法

について、本会議質疑でも多数の議員から疑問符が付いていた地区センターにおいての飲酒の取り扱いについては、

地区センターの設置の考え方において、子どもの居場所づくりも明記されており、内容

は、子どもたちが放課後などに、地域で子どもたちの安心安全な居場所を確保することを通して子どもの居場所を充実させます、とあります。

しかし、その一方で、自治会のみならず地区センターで飲酒を可能とする運用も入っています。その辺りの整合性について質疑にて確認をされる議員が多かった印象です。

一般的に、子どもと酒が一緒になるという施設は、青少年育成の観点から、慎重に検

討が必要な部分であると、わが党派では結論に達していません。

今回の地区センター条例の制定については、自治会のみ飲酒の許可という部分に関して、他の団体とのバランスも

しっかりと考慮をしなければ、公民館は自治会のためにある施設なのかと誤解を生じる可能性が大いにあります。

また、われわれ議員も賛成をするからには市民に説明のつくような納得ができるかたちにしていただき、運用方法について、しっかりと考慮した上での運用を強く要望して賛成します。

### 議員提出議案

「春日部市地区センター条例の制定について」に対する附帯決議

春日部市地区センター条例の制定については、今定例会

において、多くの議員から質疑が行われ、主に地区センターにおいての飲酒に関する不安や疑問の質疑が多く見受けられました。

よって、子どもの居場所ともなる地区センターが、市民に対してしっかりと説明と理解が得られるような下記の運用方法を求めます。

記

1 地区センターにおいて、青少年育成や子どもの居場所づくりとしての機能も有する施設において、飲酒を可能とすることの妥当性などの説明、アンケートや聞き取りなどの調査を行い、一定期間（概ね半年から1年）ごとに、飲酒に限らず総合的にその都度検証すること。

また、飲酒を可能とする際は明確なルールを定め、

① 飲酒を主目的とすることは認めないこと

② 飲酒を伴う場合の利用料は別途検討すること

③ 迷惑行為があった場合には退去及び次回より出入り禁止等に行うこと

など、最初は試行的に進めた上で慎重に行っていくこと。

そして、区画整理記念館や各地区集会所での飲食・飲酒

について、地区センターで飲酒を行うとするならば、こちらに関してもしっかりと検証すること。

以上、決議する。

【全員一致で原案可決】



### 認知症との共生社会の実現を求める意見書

認知症の高齢者が2025年には約700万人になると想定されていることから、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、共生社会の実現を推進するための認知症基本法が先の国会で成立しました。

認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある共生社会の実現を目指し、認知症施策を国と地方が一体となって進めていくべきです。

私たちが目指す共生社会とは、誰もが認知症になる可能性がある中、重症化を予防しつつ、周囲や地域の理解と協力の下、本人が希望を持って

地域の中で、自分らしく暮らし続けることができる社会です。

よって、政府におかれましては、認知症との共生社会の実現に必要な予算措置も含め、行政の体制を一層強化させ、一刻も早い認知症との共生社会を実現するため、下記の事項について適切な措置を講ずることを求め、強く要望します。

1 本年6月に成立した「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の施行及び施行後に設置する「認知症施策推進本部」をはじめとする準備に万全を期すこと。

2 地方自治体における認知症施策推進計画の策定にあたり、共生社会の実現に向けた統合的かつ連続的な計画の策定を可能にする専門人材の派遣など、適切な支援を行うこと。

3 法の理念等の普及啓発、安心・安全な地域づくりの推進、共生社会の実現を推進する取組は総合的かつ継続的に推進すること。

4 認知症の人の働きたいというニーズを叶える環境整備も重要であることから、認知

症の方々の就労や社会参画を支える体制整備を進めるとともに、働きたい認知症の人の相談体制を充実させることにより、認知症と診断されても社会の一員として安心して生活できる社会環境を整備すること。

5 独居や高齢者のみ世帯が急増する中、一つの事業所で相談から訪問、通い、宿泊まで、一人一人の状態の変化に応じて、24時間365日提供できる小規模多機能型居宅介護サービス事業を拡充すること。

6 身寄りのない方が認知症になったとしても、安全に安心して生活ができる社会環境の構築に向け、成年後見制度や身元保証等のあり方について課題を整理し検討を進めるとともに、住まいに課題を抱える方々に対する総合的な相談対応、一貫した支援を行う実施体制を整備すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。令和5年12月18日

春日部市議会

衆議院議長 様

参議院議長 様

内閣総理大臣 様

総務大臣 様

財務大臣 様

厚生労働大臣 様

【全員一致で原案可決】

### 学校給食費の無償化を求める意見書

食料品や光熱費などあらゆるものが高騰し、子育て世帯からも負担軽減を求める声が上がっています。「義務教育はこれを無償」とする憲法第26条のつとめ、学校給食費の無償化を進める流れが全国で広がり、文部科学省の調査によると、全国83・2%の自治体が無償化もしくは第3子無料などの減免を実施しています。

また、地場野菜や有機米など、安心・安全な地域の食材を学校給食に提供し、食育と地域農業の発展を目指す取組も強まっています。

2011年からいち早く給食費を無償化した埼玉県滑川町では、子育て世代の転入が

進み、税収が伸び、合計特殊出生率1・8を達成するなど、町の活性化につながっています。新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金は物価高の影響を受ける学校給食費の補填を推奨するに至っています。

学校給食法は、「学校給食は義務教育における教育の目的を実現するもの」と位置づけ、食育基本法は「食育は生きる上での基本であって地方公共団体の責務である」と定めています。

よって、国におかれましては、未来を担う子どもたちに安心・安全な地産食材の提供と子育て世代の教育への経済的負担軽減のため、国の制度として学校給食費の無償化に踏み出すことを求め、強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。令和5年12月18日

春日部市議会

衆議院議長 様

参議院議長 様

内閣総理大臣 様

財務大臣 様  
文部科学大臣 様  
内閣府特命担当大臣(こども政策) 様

【全員一致で原案可決】

## 12月定例会 審議結果

(○:賛成 ×:反対)

### 市長提出議案

議案番号	議案名 ( )は付託委員会名	審議結果	無所属の会	次世代 かすかべ!	自民党	公明党	日本共産党	立憲民主党	日本維新の会	無所属
議案第94号	地区センター条例の制定 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第95号	こども・子育て支援審議会条例の制定 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 ( ) は付託委員会名	審議結果	自 民 党 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ !	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議案第 97 号	こども医療費の助成に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 98 号	国民健康保険税条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 99 号	空家等対策協議会条例の一部改正 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第100号	視聴覚センター条例の一部改正 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第101号	旧宝珠花小学校改修工事請負契約の議決内容の一部変更 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第102号	財産の取得 (学校給食センター調理機器) (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第103号	指定管理者の指定 (春日部第2児童センター等) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第104号	指定管理者の指定 (放課後児童クラブAブロック) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第105号	指定管理者の指定 (放課後児童クラブBブロック) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第106号	指定管理者の指定 (放課後児童クラブCブロック) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第107号	指定管理者の指定 (市立第9保育所及び市立春日部子育て支援センター) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第108号	指定管理者の指定 (市立庄和第1保育所及び市立庄和子育て支援センター) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第109号	令和5年度一般会計補正予算 (第6号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第110号	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算 (第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第111号	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第112号	令和5年度介護保険特別会計補正予算 (第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第113号	令和5年度市立看護専門学校特別会計補正予算 (第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第114号	令和5年度水道事業会計補正予算 (第2号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第115号	令和5年度病院事業会計補正予算 (第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第116号	令和5年度下水道事業会計補正予算 (第1号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第117号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める [石原 達夫 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第118号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める [藤倉 高春 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第119号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める [折原 紳浩 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第120号	公平委員会委員の選任につき同意を求める [関根 金次郎 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第121号	農業委員会委員の任命につき同意を求める [萩原 勝 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第122号	農業委員会委員の任命につき同意を求める [市川 大倫 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第123号	農業委員会委員の任命につき同意を求める [山崎 勇喜 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第124号	農業委員会委員の任命につき同意を求める [水口 健二 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第125号	農業委員会委員の任命につき同意を求める [伊藤 弘子 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第126号	農業委員会委員の任命につき同意を求める [岡本 勉 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第127号	農業委員会委員の任命につき同意を求める [池上 茂 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第128号	農業委員会委員の任命につき同意を求める [川鍋 浩之 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第129号	農業委員会委員の任命につき同意を求める [飯島 優子 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第130号	農業委員会委員の任命につき同意を求める [新井 久義 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第131号	農業委員会委員の任命につき同意を求める [岡田 實 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第132号	農業委員会委員の任命につき同意を求める [中山 雅博 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ( )は付託委員会名	審議結果	自 民 党 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ !	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議案第133号	農業委員会委員の任命につき同意を求める 〔石塚 郁志 氏〕 (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第134号	農業委員会委員の任命につき同意を求める 〔石山 法男 氏〕 (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第135号	農業委員会委員の任命につき同意を求める 〔森住 武雄 氏〕 (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第136号	農業委員会委員の任命につき同意を求める 〔加藤 富夫 氏〕 (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第137号	農業委員会委員の任命につき同意を求める 〔石川 勝也 氏〕 (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第138号	農業委員会委員の任命につき同意を求める 〔齋藤 昭雄 氏〕 (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第139号	農業委員会委員の任命につき同意を求める 〔森本 恒平 氏〕 (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第140号	教育委員会委員の任命につき同意を求める 〔山口 早苗 氏〕 (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	○
議案第141号	令和5年度一般会計補正予算(第7号) (総務・厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第142号	令和5年度一般会計補正予算(第8号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第143号	解決金の額を定める (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第144号	令和5年度病院事業会計補正予算(第3号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

諮問

(○:賛成 ×:反対)

諮問番号	諮問名 ( )は付託委員会名	審議結果	自 民 党 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ !	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める 〔中田 和代 氏〕 (付託省略)	推薦に賛成	○	○	○	○	○	○	○
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める 〔新井 操 氏〕 (付託省略)	推薦に賛成	○	○	○	○	○	○	○
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める 〔小林 学 氏〕 (付託省略)	推薦に賛成	○	○	○	○	○	○	○

請願

(○:賛成 ×:反対)

請願番号	請願名 ( )は付託委員会名	審議結果	自 民 党 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ !	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
請願第8号	小中学校の女子トイレに生理用品を常備することを求める請願(教育環境)	不採択	×	×	○	○	×	×	○

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ( )は付託委員会名	審議結果	自 民 党 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ !	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議第23号議案	議案第94号「春日部市地区センター条例の制定について」 に対する附帯決議 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第24号議案	医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第25号議案	認知症との共生社会の実現を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第26号議案	ガザ攻撃中止と即時停戦に向けた外交努力を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○ <sup>2</sup> × <sup>1</sup>
議第27号議案	介護保険制度の改善と介護従事者の処遇改善を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	○ <sup>1</sup> × <sup>2</sup>
議第28号議案	学校給食費の無償化を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第29号議案	「質の高い公教育」に向けた教職員の人材確保を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第30号議案	最低賃金の引き上げと格差是正の実現を求める意見書 (付託省略)	原案可決	×	○	○	○	×	×	○ <sup>1</sup> × <sup>2</sup>
議第31号議案	殺傷兵器の輸出解禁に反対する意見書 (付託省略)	否 決	×	×	○	○	×	×	○ <sup>2</sup> × <sup>1</sup>
議第32号議案	消費税の減税を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	○	○ <sup>2</sup> × <sup>1</sup>

# 一般質問

## 市民の声を市政に

※ 各議員のQRコードをスマートフォン等で読み取ることで、一般質問の録画映像をご覧ください。

※ 荒木洋美議長は職責上（議事整理権）、監査委員の水沼日出夫議員は申し合わせにより一般質問は行っていません。

（文責は、各質問者）

## 一般質問に25人が登壇

### 福祉行政について



山崎 進  
議員



高齢化社会が進んで、埼玉県の高齢化率は全国でも低い方ですが、2023年は、26・8%です。春日部市の高齢化率は、2023年11月1日現在で、31・4%と県の平均を上回っています。17年後の2040年には、36・7%と予測されます。核家族化の現在、高齢者世帯、単身高齢者世帯も増加しています。さらに、認知症高齢者も年々増加傾向にあります。

そこで、高齢者世帯や単身高齢者に急病などが起きた場合の支援策について伺います。

また、認知症の人が行方不明になることがあります。家族が行動範囲を知るためにも、GPS機能を使って行動確認ができないか伺います。

○福祉部長

急病などは、まずは救急搬送の対応となります。介護については、高齢者やご自身のことについて不安などがある

方は、気軽に地域包括支援センターに相談していただくことで、いざというときの対応ができると考えています。

GPSは、自分自身で意識して所持する必要があり、随時充電が必要であること、また高額のため、利用者に自己負担を求める自治体もあります。本市が実施している「ひとり歩き高齢者等保護対策事業」は、無料で利用できることから、より多くの方に利用いただけるよう、今後も周知に努めていきます。

このほか

### 消防施設の老朽化対策について



河井 美久  
議員



関東大震災から100年を迎え、次なる大規模地震発生の危険性が高まっていることを踏まえ、火災が大変恐ろしいものであると痛感しているところでは、

安心・安全を確保する消防に対する市民の期待は高く、消防体制の強化を進めること

は、ますます重要であると考えています。しかしながら、消防施設、特に消防活動の拠点となる消防庁舎の老朽化が進んだままでは、切迫する大規模地震などに対応できないものと考えています。

そこで、消防力の基礎となる消防庁舎の老朽化対策と、今後の計画、特に未耐震となっている浜川戸分署の計画について伺います。

○消防長

消防庁舎の老朽化対策と今後の計画ですが、将来を見据え、消防サービスを提供するため、安心・安全に暮らせるまちづくりの推進を目的に、令和4年11月に策定した消防施設整備計画に基づき、改修工事などの老朽化対策を進めていきます。

未耐震となっている浜川戸分署については、消防施設整備計画の中で、消防力の適正配置に関する調査の結果において適正位置とされた周辺へ、移転建替えることに合わせ、幸松分署との統合を目指すこととしていきますので、計画に基づき検討を進めていきます。

このほか

○豊春地区の旧古隅田川しゅんせつ工事について

## 100ミリ安心プランの概要について



鬼丸 裕史  
議員



全国各地で戦後最大規模の洪水により、甚大な被害が発生しています。世界的な気候変動も叫ばれており、さらに大きな水害が、いつ起きてもおかしくない状況となっています。100ミリ安心プランは今年度を含め残り計画期間3年となり、計画の終盤を迎えます。

そこで、以下伺います。

- ①今年度の大雨による安之堀川周辺の被害状況について
  - ②以前から懸念となっていた安之堀川へ流れ込んでいた水路への水の逆流を防止するため実施する工事内容について
  - ③本市が実施する今後の予定について
- 建設部長
- ①護岸のかさ上げがほぼ完了している安之堀川については、河川からの越水を防いでおり、十分な整備効果があったものと考えています②安之堀川の改修に伴う水路の逆流防止対

策は口径や幅が1メートル以上の水路3か所を対象としています。今年度については、最下流部の右岸側にある水路と中間部の左岸側にある水路にフラップゲートを設置する工事を実施します③令和6年度と7年度において、残り1か所となる、谷中橋付近の水路の逆流防止装置の設置、谷原地区の約1700立方メートルの雨水貯留施設、大沼地区の雨水管渠施設の完成に向けて取り組んでいきます。

このほか

○春日部市の観光振興について



F595号橋の修繕状況

## 選ばれるための子育て支援について



小久保博史  
議員



内閣は、「異次元の少子化対策」を掲げ、少子化や人口減少に歯止めをかけるため、さまざまな対策に取り組んで着手しています。

本市もこれまで、「日本一子育てしやすいまち」をスローガンに掲げ、さまざまな子育て支援策に取り組んできましたが、少子化と高齢化の進行を食い止めることはできていない状況です。本市の未来のためには、少子化に歯止めをかけることが必要不可欠です。そのためには、若者・子育て世代に選ばれるまちとなることが重要と考えます。

そこで、若者や子どもたちが、地域への愛着や社会の一員としての主体性を高める取り組みについて、市の考えを伺います。

○こども未来部長

選ばれるまちになるためには、次世代を担う若者への支援や取り組みが必要であると

考えています。

今後は、子どもに焦点を当て、子どもの意見を聞きながら、子どもたちに直接届く事業、子どもの権利擁護を重視する取り組みを多角的に行っていくことが重要と考えます。今後策定する、こども計画において、子どもや若者の意見を施策に反映させる方法を本市での取り組みに位置付け、選ばれるまちになるための視点を重視しながら、計画に掲げる施策を検討していきます。

このほか

○新型コロナウイルス感染症への対応について

## 鉄道高架事業について



伊藤 一洋  
議員



鉄道高架事業は、本市において長年の悲願であり、課題である事業だと思えます。現在の進捗状況について、

春日部駅東口では、東口仮駅舎の2階から既存の浅草方面までを結ぶ南北連絡通路の工事を進めていることや、富士見町地下道が9月11日に完成

し、以前のものよりも緩い勾配で整備し、使用を開始したことを理解しました。

それでは、春日部市にとって鉄道高架事業は大変重要な事業であり、市民にとって早期完成を望む声が多くありますが、今後の見通しについて伺います。

○鉄道高架担当部長

今後の見通しについては、まずは事業に必要な用地取得を引き続き進めていきます。

次に、工事については、東武伊勢崎線の仮上り線への切替えを進めた後、下り線、野田線の上下線の順に仮ホームと仮線を東口側へ寄せる切替えを行い、西口側に高架橋を建設するスペースを生み出していきます。

続いて、西口側から野田線の上下線、伊勢崎線の下り線上り線の順に高架橋の建設を進めていきます。

引き続き埼玉県、東武鉄道と連携し、令和13年度の完成に向けて事業に取り組んでいくとともに、事業の効果が最大限発揮できるよう、まちづくりも着実に進めていきます。

このほか

○空き家におけるアライグマの問題等について

## 子育て支援について



藤原 智子  
議員

結婚、妊娠、出産から子どもが社会に巣立つまで、ライフステージや子ども年齢などに応じた切れ目ない支援策の充実に取り組み中、妊娠期からの一貫した子育て支援が強化され、本市では10月から宿泊型の産後ケア事業が始まりました。国では実施要綱で「産後ケアを必要とする者」とし、希望者全員が対象となることを明確にしましたが、本市では市が掲げている項目に全て当てはまる方とあります。本市でも希望者全員が利用できるよう進めてほしいと思います。

産後ケアの充実を含めた妊産婦に対する支援の充実についての考えを伺います。

○ことも未来部長  
宿泊型産後ケアについては、現在は市内2カ所の医療機関と1カ所の助産所において、空きベッドを活用し実施していることから、ケアを受けら

れる方の人数は限られている状況です。そのため、今後市外を含め、受入れ可能な施設の確保に努めていきます。

また、新たな妊産婦への支援として、食事の準備や洗濯、買物、掃除の代行など、家事支援や育児支援などを行う、子育て世帯訪問支援事業についても検討を進めています。

引き続き、妊産婦に対する支援の充実にも努めていきます。

このほか

○子宮頸がん撲滅に向けた取り組みについて

○日本語指導が必要な児童生徒の支援について

## 福祉と連携した交通施策と今後のまちづくりについて



中村 貴彰  
議員

春バスが廃止になる地域に住まわれている、特に高齢者の皆さまにおいては、今後に向けて病院への通院や日常の買い物などの懸念が予想されます。

庄和地域での実証実験の間、逆を言えば地域の意見をしっかりと聞ける、よい機会

と捉え、春日部市全体としても再度声を聞くべき、もっと検証をするべきだと思います。実情に合わせ、内牧地域であれば、北春日部発着のバスや豊春地域においては、タクシークーポンなど、全ての市民に光を当て、誰ひとり取り残さない、今こそ、公共交通と福祉が連携し、市民に寄り添っていくことが本当に大切だと思います。

春バス空白地域の移動手段は大きな問題で、福祉的観点からも、これからの高齢者の移動手段に関しては、喫緊の課題です。この課題について、市長はどのように考えているか伺います。

## ○市長

高齢者の移動手段の確保については、今後も高齢者人口の大幅な増加が見込まれる中、大変重要な課題であると認識をしています。

高齢者が安心して生き生きと暮らせるよう、他市の状況などを参考にしつつ、議員ご指摘の福祉的観点も考慮し、広い視野に立って、今後検討していきたいと思えます。

このほか

○糖尿病重症化予防策について

## 公共施設での利便性向上策について（音声認識アプリ・軟骨伝導イヤフォン・生理用品）



栗原 信司  
議員

新本庁舎に限らず、全ての公共施設において市民サービスの向上を図るべきとの観点で伺います。

まずは新本庁舎として、どのような取り組みを始めるのか。新本庁舎の窓口における対策について伺います。例えば、UDトークなどの音声認識アプリや、耳を防がずに、耳の軟骨を使う、軟骨伝導イヤフォンを公共施設の窓口に配置している自治体が増えてきました。

生理用品についても一昨年3月4日に公明党の佐々木さやか参議院議員が他党に先駆け、初めて国会で生理用品の負担軽減について訴えたことを受け、直後の3月17日に、公明党市議団として、いち早く当時の執行部に緊急要望書を提出したところです。

そこで、新本庁舎をはじめ、生理用品を置いてほしいところですが、いかがでしょうか。

○総合政策部長  
新本庁舎の窓口においては、デジタル技術を活用した書かない窓口とAI翻訳タブレットを新たに導入し、利便性向上に取り組んでいきます。

○財務部長  
生理用品については、試行的に新本庁舎のトイレに設置することについて、実施に向けた準備を進めていきます。

このほか

○AYA世代のがん患者への支援について

○投票率向上策として期日前投票所の拡充を

○高齢者支援について



AI翻訳タブレット

### 後継者の育成で、 持続可能な農業を



大野とし子  
議員

耕作面積が県内ベスト10に入る春日部市の農業は重要な産業ですが、この5年間の新規就農者は17人で、後継者育成は喫緊の課題です。

秋田県横手市の「よこて農業創生大専学校」では、計画的に新規就農者を育成しています。この取り組みの良い点は①県から講師を招聘し座学も含め2年間系統的に農業の知識を学べること②就農後も市や県のサポートがあることだと考えます。

春日部は、新規就農者育成のために「明日の農業担い手育成塾」に取り組んでいます。この事業の充実が求められると考えます。この事業において、農業団体の皆さんの指導を軸に、埼玉県農林振興センターと連携して、農業について系統的に学べる場の充実が重要と考えます。また、国の補助金を活用し、経済的支援もしていくべきと考えますが、

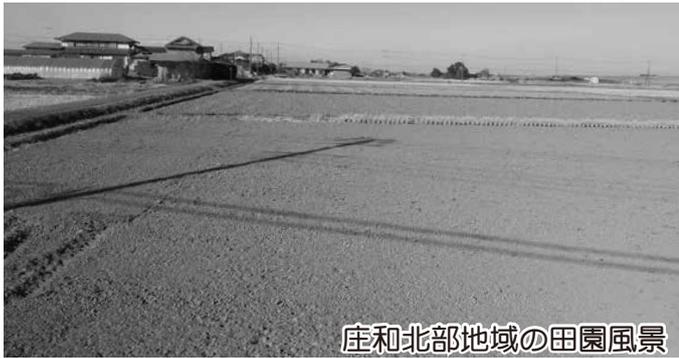
市の認識を伺います。

#### ○環境経済部長

県農林振興センターとして連携し、効果的な研修メニューを協議していきたいと考えています。独自支援については、現在も農業機械の賃借料など、農業実習にかかる費用を負担していますが、一方で、近年、入塾者がいない状況があり、他県のさまざまな事例を研究していきます。

#### このほか

○庄和保健センター跡地に児童館を  
○庄和地域は、長寿を祝う会を正風館で



庄和北部地域の田園風景

### 補聴器購入助成を 早期に実施し、元気で 長生きの春日部に



並木 敏恵  
議員

年を重ねることで、さまざまな機能が衰えていくのは自然なことですが、年を重ねても自分らしく生きることができよう「健康寿命」を延ばす取り組みが行われています。個人差はあっても年齢とともに聞こえにくくなり、コミュニケーションが低下し「人と会いたくない」、車や自転車が近づいていても気付かず、「外出が怖い」など、生活の質が下がり、危険も増すことにつながります。

「聞こえ」の改善は補聴器の装着が有効ですが、補聴器使用について基本的な考えを伺います。また、元気で長生きのために補聴器購入の補助を求めます。

#### ○福祉部長

国の研究では、認知症予防と補聴器は一定の相関関係が確認されていますが、難聴と認知症の因果関係は結果が得られていないことから、国の

状況を踏まえ、慎重に判断していきます。

#### ○市長

補聴器購入助成について、多数の署名をいただきニーズが存在することを認識しています。難聴高齢者が補聴器を装着することでコミュニケーションが取りやすくなることを踏まえ、国の調査結果や導入自治体の検証結果を注視していきたいと考えています。

#### このほか

○看護専門学校建て替え拡充を  
○障害者グループホームに市独自の補助を

### 安心して歩ける歩道整備 計画と一休みできる 場所づくりを



今尾 安徳  
議員

ただく機会も増えました。本市は坂があまりなく、非常に歩きやすい地域だと思います。安心して高齢者の方も出歩ける歩道整備を、市民の方と一緒に歩いて計画を作っていく、また、民間の協力も得ながらベンチの設置など、一休みできる場所づくりを進めていくことは、一つの本市の大きなアピール・魅力になると思います。そこで市長の見解を伺います。

#### ○市長

市内を安心して歩くために歩道整備を効果的に進めることは大変重要であると認識しており、市長就任以来、2年間で駅周辺のバリアフリー化、ベンチ設置などを推進してきたところです。

議員提案の民間からのベンチなどの協力、寄贈については、積極的に進めていきたいと考えています。今後についても、安全安心で快適な道路環境づくりに向けて、市民の皆さまの意見を伺いながら、バリアフリー化と併せて高齢者の方なども安心して歩ける歩道整備を推進していきます。

#### このほか

○困った人に寄り添える生活保護行政を

## 市立医療センターの 充実について



金子 進  
議員

市立医療センターについては、外来・入院が盛況で、医療、設備ともに充実し、市民から頼られる病院として高度な医療を提供しています。先日入院された方から、入院中はスマートフォンを利用しての方が多くいるが、Wi-Fi環境が整備されれば、さらに良くなるのにとの意見がありました。患者サービスの向上のために、Wi-Fi環境の整備ができないか伺います。



吉田 稔  
議員

## 人事管理と 定年延長制度について

市民の皆さんに寄り添った市民サービスを継続していくために、優秀な人材をしっかりと確保していくことが重要と考えます。

そこで、以下伺います。

①来年度から始まる役職定年制において、役職定年者に求める役割と配属先について

でのメリットが大きいことから、この方式による導入も視野に入れながら、検討していきたいと考えています。

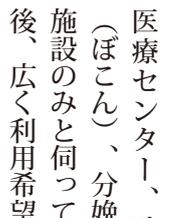
医療機器の更新については、更新計画に基づき行う予定で、令和6年度に内視鏡下手術支援ロボットの機種種への更新に併せ、内視鏡手術装置の増設やエコーなどの周産期医療機器の更新を予定しています。

令和7年度にはマルチスライスト、マンモグラフィ、X線テレビ装置などの更新を予定しています。

このほか  
○農業の状況について

②新規採用者について  
③職員を対象とした現場を肌で感じ取れる研修等について

○総務部長  
役職定年者に求められる役割については、業務の担当者としての即戦力のほか、特に2つの役割を求めているところです。1つ目は、現場の相談役としての役割です。2つ目は、マネジメント補佐としての役割で、経験の少ない若手管理職などの伴走役を担ってもらうことを期待しているところです。



古沢 耕作  
議員

## 新たに始まった「宿泊型 産後ケア事業」について

○市長  
今後、職員が視察やフィールドワークといった現場を肌で感じ取れるような研修の仕組みを検討し、行っていくまい。

このほか  
○旧宝珠花小学校の跡地活用事業について

本市は、昨年10月より、妊産婦の方々、そして、産まれた赤ちゃんの心身のケアを行う、宿泊型の産後ケア事業を開始しました。近隣市では既に取り組んでいる自治体も多々あり、遅ればせながらという感はありませんが、産後ケア事業を導入したことは歓迎し、以下伺います。

母親とその赤ちゃんです。医療機関や助産所に宿泊していただき、母子の授乳相談、育児支援などを通じて、家庭に戻ってから安心して子育てができるサポートをする事業です。子育て包括支援センターで申請を受け付けています。

②市外の医療機関を含め、受け入れ可能な施設の確保に努めていきます。また、通所型、居宅訪問型については、利用者のニーズ調査の結果を踏まえながら検討していきます。

このほか  
○おもてなしの心を宿す新庁舎に



母子産後ケア (イメージ)

## GIGAスクールの 途中経過について



榛野 博  
議員



コロナの影響で事業開始が早められたGIGAスクールが導入されてから、約2年半が経過し、端末を活用して進められる学習は、従来の学校現場に、どのような変化をもたらしたのか、実際の教員や児童生徒、保護者から寄せられた意見を基に現時点での状況を伺います。

また、GIGAスクールを進めていく上で、本市は学習支援ソフトを導入していますが、このソフトを導入したことで、最も児童生徒に対して効果的であった取り組みは何か伺います。

### ○学務指導担当部長

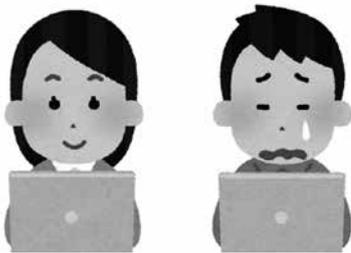
変化については、端末を使った授業では、付箋機能を活用して児童生徒の考えを教室の大型モニターや一人一人の端末画面へ一斉に映し、学級全体で共有することで、自分と同じ考えの人や、他の人の考えなど、クラス全員の意見

を集約し、容易に知ることができるようになりました。

また、その場で調べ学習を行う、植物や動物の成長の様子を写真に撮って観察する、跳び箱運動やマット運動で自分の技を録画し、後で自分の体の動きを見て技を修正するといったように、端末の機能を生かした授業が展開されています。

導入した学習支援ソフトには、さまざまな機能がありますが、児童生徒の視点に立つと、AI型ドリルソフトが効果的であったのではないかと捉えています。

GIGAスクール  
児童生徒が学習者用端末(タブレット)を活用した学習



GIGAスクール (イメージ)

## 健幸プロジェクトの 更なる推進を



鈴木 一利  
議員



本市では現在、「健幸プロジェクト」として五つの重点プロジェクトを展開していますが、その中でも「健康をめぐむまちプロジェクト」が市民にとって、一番結びつきやすいと感じます。そこで、この健幸プロジェクトでの新規事業への反映について伺います。

そして、健やかで幸せな暮らしを送る大切な健康寿命の延伸のための事業である、带状疱疹ワクチン接種の助成とアピアランスケア事業(ウィッグや乳房補正具等の助成や心理的サポート)を、健幸プロジェクトとして位置付けての事業実施について伺います。

### ○総合政策部長

第2次春日部市総合振興計画後期基本計画においては、健幸プロジェクトに限らず常時事業の見直しを行ってまいります。必要な新規事業については追加しており、健幸プロ

ジェクトの推進に資する事業であれば、新たに位置付けもしていきます。

また、新たに健幸プロジェクトに位置付けられた事業や、その他の新規事業については、実施計画の見直し時に実施計画書へも反映をしていきます。

### ○健康保険部長

带状疱疹ワクチン接種の助成やアピアランスケア事業の実施については、早期の実現を目指していきたいと考えています。

### このほか

○「奨学金変換支援制度」について

## ゼロカーボンシティ 推進に向けて



奥沢 裕介  
議員



長年の課題の一つとして、

CO2排出を主な原因とする地球温暖化問題があります。

この課題に関しては、CO2の排出量を減らしつつ、大気中のCO2を吸収することによって、CO2の排出量を実質ゼロとすることを目指すゼロカーボンシティを推進し

めていくことは喫緊の課題です。何の対策も施さなければ、近年起きた被害をも上回る恐ろしい災害が、今後多発していくことは明白であります。

ゼロカーボンシティの実現と、子どもたちへの教育環境について、本市として、今後どのように推進していくのか、市長の考えを伺います。

### ○市長

ゼロカーボンシティ実現に向けては、ゼロカーボンシティ推進本部により、引き続き、市民、行政とさまざまな分野の事業者が連携しながら取り組んでいきます。また、今後の社会の担い手となる子どもたちには、さまざまな環境問題とそれを解決すべきことについて理解を深めてもらうことが大変重要と考えています。子どもたち一人一人が自分

のできることに向き合い、環境に優しい行動を実践していくためのきっかけを提供し、それをさらには、大人の方へつなげていただければと考えています。そのため、小・中学校および義務教育学校への太陽光発電や蓄電池の導入などを契機に、さらに一歩進んだ環境教育を教育委員会と連携して推進していきます。

## 大沼陸上競技場の リニューアルについて



永田 飛鳳  
議員

大沼陸上競技場リニューアルに関して、整備後は、芝のサッカーグラウンドとしても利用が可能ということですが、市長は、自身の選挙公約の中で「芝のサッカーグラウンドを整備」と、うたっています。

今回の大沼陸上競技場のリニューアルは、選挙公約の「芝のサッカーグラウンドを整備」の代替なのでしょう。それとも、その選挙公約とは全く別で、他にも芝のサッカーグラウンドを整備する予定はあるのでしょうか、市長に伺います。

○市長  
未来を担う春日部の子どもたちも含め、より多くの皆さまがグラウンドゴルフ、陸上競技、サッカー、運動会など、多様なスポーツ・レクリエーション活動を楽しむための環境を整備したいという思いを強く持っています。

しかし、春日部市総合体育施設整備基本計画は、中長期的な計画となり、総合体育施設の本格的な整備着手、完成には一定期間を要することとなります。

このようなことを踏まえ、大沼陸上競技場のリニューアルを、いち早く着実に進めることで、スポーツ・レクリエーションの活性化を図り、子どもから高齢者まで幅広い世代の皆さまの健康増進につなげていきたいと考えています。

このほか  
○学校施設の一般開放について

## 北春日部周辺の まちづくりについて



阿部 雅一  
議員

区画整理事業地内には、人が隠れてしまう程の雑草が火災や犯罪の発生を大変心配しています。防犯や防災面での問題や、雑草の中への不法投棄も目立つようになってきました。ご存じのように本事業地は広大な面積であり、組合

員の方々だけの管理には限界があると思います。

そこで、市内には地域貢献活動を行っている事業所や、さまざまなボランティア団体があり、私もボランティア団体で活動を行っています。仲間に北春日部の雑草の話をしたところ、「できることならやらせていただきたい」と言ってくれています。

そのような市民の力を借りる方策について、本市で何らかの支援ができないものか、本市の考えを伺います。

### ○都市整備部長

本事業地については、組合において管理されていることから、事業地内の雑草の対策についても、組合に対応していただいています。

ボランティア団体の活用については、事業費の軽減にも効果的であることから、雑草対策として有効な方策の一つであると考えています。

今後においては、組合と情報共有を図りながら対応していきたいと考えています。

### このほか

○新庁舎の窓口環境の充実に  
ついて

○春日部市公共施設マネジメント基本計画の進捗について

## (新) 中央町第1公園 整備について



木村 圭一  
議員

(新) 中央町第1公園整備予定となる(旧)市庁舎跡地は、土地が低く道路冠水した経緯があることから、公園下に雨水貯留施設の整備をしながら、その雨水を利用して、公園内へ供給する水としての活用はできないでしょうか。

また、本市の中心的公園となることから、衛生的にも配慮できるトレーラー型トイレを設置することで、大規模修繕が必要となる場合でも、トレーラー交換するだけで簡単に衛生的修繕が行えると思いますが、本市としては、どのように考えるのか。

さらに、パークPFI方式を利用して公園整備することで、民間活力が期待されるが、本市としての考えを伺います。

### ○建設部長

雨水の再利用や主に災害時に役立つトイレトレーラーの導入については、有効な取り組みの一つであると認識して

います。

(新) 中央町第1公園の整備に当たっては、公園利用者ニーズの視点に加えて、地域の課題解決の視点も含め、さまざまな事例を研究していきたいと考えています。

公園整備の手法については、民間事業者への調査結果などによって、民間活力導入の優位性が見出された場合、改定を進める基本計画に位置付け、積極的に活用を検討していきたいと考えています。

### このほか

○長寿を祝う会について  
○老朽化施設について



トイレトレーラー (イメージ)

春日部市における  
ラーケーション制度について



会田 吉幸  
議員



令和5年9月より、名古屋  
市を除く愛知県内の各自治体  
において、ラーケーション制  
度が始まりました。大分県別  
府市でも同様な制度を拝見し  
ました。この制度は、年3日  
までは子どもが学校を休んで  
も欠席扱いとはしない制度で  
す。そこで、以下伺います。

①ラーケーション制度の概要  
及び利点・課題について②春  
日部市での導入予定について

○学務指導担当部長

①ラーケーション制度は子ど  
もと保護者が学校ではできな  
い体験や学びの活動を一緒に  
計画し、届出をすることで、  
学校は欠席扱いとせず、年に  
3日までラーケーションの日  
を取得できる制度です。

平日が休みとなる保護者に  
とっては、欠席を気にせず、  
学校ではできない体験や学び  
の活動がしやすくなるという  
利点があると考えています。  
しかし、欠席扱いにならなく

ても、その日の授業について  
自分で学習しなければならな  
いことや、学校行事などの日  
に取得する子どもが多いと、  
教育活動に支障が出るといつ  
た課題があると考えています。

○教育長

②本市では、入試における欠  
席の扱いなどを考慮すると、  
愛知県のように県単位で実施  
することが望ましいと考えて  
います。制度の実施状況や、  
その成果・課題などを研究し  
ていきたいと考えています。

このほか

○庄和総合公園の管理につい  
て



ラーケーション制度 (イメージ)

本市における  
これからの  
公共交通について



大里 昇  
議員



現在、「2024年問題」  
を控え、交通網の維持が難し  
く、各自治体が運営する公共  
交通の中で業務量を減らし効  
率化を図るのか、利便性を維  
持するか、運営に課題を抱え  
た自治体が増えてきています。  
本市においても「第四次春バ  
ス運行」が新庁舎の開庁と同  
時にスタートします。

そこで、以下伺います。

①春バスの運行ルートが、6  
ルートから3ルートになった  
経緯と運行経路について

②庄和地域で行うタクシー補  
助制度(春タク) 実証実験の  
内容について

○都市整備部長

①第三次運行では交通空白地  
域への最低限の交通サービス  
を確保するよう6ルートで運  
行し、その結果、利用者が少  
ない停留所が多くあることや、  
多くのルートで所要時間が長  
く便数が少ないこと、公費負  
担率が高いことなどの課題を

抱えていました。第四次運行  
では、駅を中心としたルート  
や、駅などの拠点間を結ぶル  
ートである3つのルートへの  
集約を行い、運行の効率化、  
所要時間の短縮と便数の増加  
を図っています。②庄和地域  
内で、交通が不便な地域に住  
む75歳以上の高齢者や妊産婦  
の移動手段を確保するため、  
タクシー運賃の一部を補助す  
る取り組みです。利用できる  
タクシー事業者は、個人タク  
シーを除く市内3事業者です。

このほか

○市内の公共トイレ整備と利  
便性について

米Cityかすかべ  
「米粉実証実験」の  
経過と展望について



山口 剛一  
議員



平成21年から農林水産省の  
「支援交付金」を活用して、  
本格的な米粉用米の生産に取  
り組んだ「八郎潟の埋立」で  
有名な秋田県大潟村に行政視  
察に伺いました。事業総額は  
約12億5000万円、うち交  
付金額は約6億2500万円  
で耕作面積は平成21年には2

00ha、平成25年には70  
0haに拡大する計画でした  
が、現在では10haでした。  
重要な反省点として「出口戦  
略不足」があげられています。  
都市近郊にある本市は大潟  
村と比べて、消費者、事業者  
ともに恵まれており「出口戦  
略次第」では大いに可能性が  
ある事業だと思えますが、今  
年度の取り組み状況、今後の  
展望について伺います。

○環境経済部長

今年度の取り組みは、新た  
な試みとして、「笑みたわわ」  
の実証実験に着手しました。  
また、地産地消料理教室の開  
催や市内飲食事業者などを対  
象に、試作用米粉提供事業を  
実施したほか、小・中学校等  
や保育所で給食の活用に向け  
た、取り組みを行っています。  
今後の展望は、試作希望者  
を市外の飲食事業者などにも  
拡充するほか、市内の学校給  
食での活用に向けた試作品の  
開発や、流通過程の仕組みを、  
関係者と検討していきます。

このほか

○Next川の再生「水辺de  
ベンチャーチャレンジ」の経  
過と展望について

○本市の働き方と職場環境に  
ついて

## 市長の給料50% 減額終了について



石川 友和  
議員



市長の給料50%減額は、選挙公約でコロナが収束するまでの条件付きでしたが、どのような認識のもと給料減額を終了するのか、確認のため以下伺います。

①任期中の4年間は減額だと思っている有権者がほとんどだと思うが、市長の認識について

②ほとんど見ていない公開討論会だけで、市長は有権者全員に選挙前、選挙中に減額期間は伝えたと言いつけるのか  
③先日、非課税世帯1世帯当たり7万円の給付が決まったが、この財源は新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金で、収束宣言をしていまずが、いまだに国から、交付金を受け取る認識か伺います。

○市長  
①給料の減額期間については、春日部市長選挙公開討論会で、発言をさせていただきました。  
②給料の減額期間は、公約に

掲げたチラシのとおり、市長報酬の半分をコロナ対策に割り当てることを記載しており、特に期間を設けたものではありません。また、減額期間については、公開討論会で発言したとおりです。

③新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とした事業となっていますが、内容としては、コロナ対策ではなく、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響を受けた生活困窮者の負担軽減を図り、直接支援が及ぶよう実施するものです。

## ふじ通りの藤の木について



平沢 一博  
議員



藤は「春日部市の花」として指定されており、中でもふじ通りの延長約1キロに及ぶ藤の木は街路樹は、街路樹としては日本一の延長で、本市の宝として、健全な状況で保存していくことが重要です。しかし、ふじ通りの木の幹に大きな穴が空いてしまってい

るものやヒビが入ってしまったもの、幹がボロボロのものが目立ちます。

そこで、以下伺います。

①幹にある穴やヒビは、このままで大丈夫なのか②藤の花を摘んでしまっているという声があるが、花を摘むのを止める、もしくは花を摘むのを遅らせることはできないのか  
③老朽化していく藤の木について、今後どのように管理していくのか

### 建設部長

①穴やヒビは日光や乾燥による影響であると考えられ、また、藤棚の上の枝や葉は元気であることから樹勢には影響していないと判断しているところですが、②花を摘む作業は花が摘みと言われるもので、見頃が過ぎた花を放置すると、木の体力が奪われ、翌年の花芽ができにくくなってしまいます。翌年の花のために、今後も樹木管理の中で実施していきたいと考えています。③木が枯れてしまう前に順次計画的に新しい木へ植え替えをしていきたいと考えています。

このほか  
○人権問題について  
○本市における英語教育について

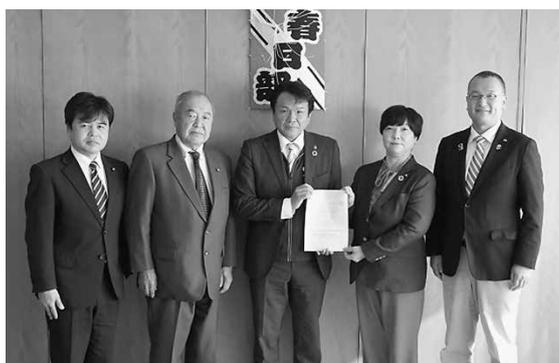
## 今定例会傍聴状況

合計	18	14	13	11	7	6	12 / 4	30	11 / 27	月日
96	6	6	12	8	28	21	9	2	4	傍聴者数 (人)
	討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	委員会	質 疑	上程・説明	主な日程

## 市議会より市長へ 要望書を提出しました

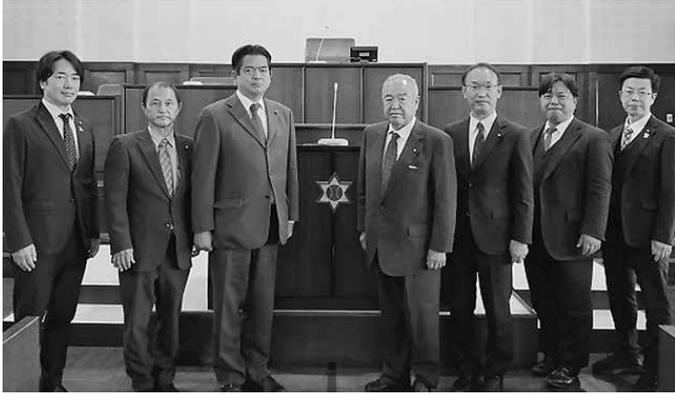
中心市街地まちづくり検討特別委員会において協議を行い、春日部市中央一丁目地区まちづくり方針を担保する地区計画の都市計画決定、市街地再開発事業の都市計画決定要件となる交通計画の策定を令和6年度中に行うよう、12月18日に、議長、副議長および中心市街地まちづくり検討特別委員長・副委員長の4名で市長へ要望書を提出しました。

詳しい内容は  
こちらから



## 常任委員会行政視察

(◎委員長 ○副委員長)



総務委員会 (小樽市)

◎山崎 進 ○鈴木 一利 今尾 安德  
平沢 一博 伊藤 一洋 中村 貴彰  
鬼丸 裕史



厚生福祉委員会 (敦賀市)

◎金子 進 ○阿部 雅一 古沢 耕作  
会田 吉幸 並木 敏恵 大里 昇  
吉田 稔 荒木 洋美



建設委員会 (武雄市)

◎木村 圭一 ○永田 飛鳳 酒谷 和秀  
木下三枝子 水沼日出夫 奥沢 裕久  
藤原 智子



教育環境委員会 (仙北市)

◎小久保博史 ○山口 剛一 榛野 博  
大野とし子 石川 友和 河井 美久  
栗原 信司

### 閉会中の委員会活動

- ▽総務委員会  
10月18日～20日  
・行政視察  
○小樽市 (避難行動要支援者避難支援計画について)  
○江別市 (移住・定住促進事業とシティプロモーションについて)  
○北広島市 (プロスポーツチームの誘致とシティセールスについて)
- ▽厚生福祉委員会  
10月18日～20日  
・行政視察  
○豊橋市 (こども若者総合相談支援センター「ココエール」について)  
○敦賀市 (子育て環境日本一プロジェクトについて)  
○金沢市 (在宅医療・介護連携事業について)
- ▽建設委員会  
10月18日～20日  
・行政視察  
○武雄市 (西九州新幹線開業に伴う駅周辺整備事業について)  
○佐世保市 (中央公園整備及び管理運営事業について)  
○春日市 (西鉄天神大牟田線連続立体交差事業及び西
- ▽教育環境委員会  
10月17日～19日  
・行政視察  
○仙北市 (小中学校の学力向上の取り組みについて)  
○横手市 (よこて農業創生大学校事業について)  
○奥州市 (6次産業化について)
- ▽議会運営委員会  
10月30日～11月1日  
・行政視察  
○出雲市 (議会でのタブレット端末の活用及び議会資料のペーパーレス化について)
- 倉敷市 (政治倫理条例について)  
○岡山市 (「チーム議会」による議会改革の推進と政策立案機能の強化について)
- 11月21日  
・令和5年12月定例会の運営について
- ▽議会改革検討特別委員会  
10月27日  
・議会報告会について  
・デジタル化とペーパーレス化について  
・議員研修会の開催について
- 11月16日  
・議会報告会について

鉄春日原駅周辺整備事業について

### 市議会ホームページのご案内

市議会のホームページでは、議員名簿、会議日程、会議録、本会議の録画中継映像などをご覧いただけます。また、スマートフォン等にも対応しておりますので、ぜひご覧ください。



- ・デジタル化とペーパーレス化について
- ・議員研修会の開催について
- ・予算委員会について
- ・3月定例会における代表質問について
- ▽新型コロナウイルス感染症対策特別委員会  
10月16日
- ・「春日部市長の給料の額の特例に関する条例の一部改正について」に対する附帯決議に関する状況について  
11月16日
- ・令和5年12月定例会の対応について
- ▽広報広聴委員会  
12月22日
- ・議会だより第74号について  
1月5日
- ・議会だより第74号について  
議会だより第74号について

## 新しい議場で本会議が開催されます。ぜひ、傍聴にお越しください。



傍聴席



傍聴席から見た議場



親子傍聴席



親子傍聴席から見た議場

傍聴席は60席（うち車椅子席4席）で車椅子のままでも傍聴できます。また、小さなお子様連れの方でも気兼ねなく傍聴していただくために、防音の親子傍聴席も設置しています。

### 編集後記

新しい年を迎え、新庁舎に移り、はや1カ月となりました。春の訪れも待ち遠しい季節となり、市民の皆さまにおかれましては、健やかに過ごしてはいかがでしょうか。

12月定例会では、市長提出議案の条例の制定および改正や補正予算などを慎重に審議し、全て原案可決となりました。また、議員提出議案においても「春日部市地区センター条例の制定について」に対する附帯決議や「学校給食費の無償化について」なども、

全員一致で可決されました。

今年から新庁舎で業務が始まり、職員の方々も市民への開かれた、交流のある明るく広い庁舎として、また、安心安全なまちづくりのためにも議員一同、一丸となって取り組んでいきます。そして、令和6年が市民の皆さまにとって素晴らしい年になるよう、心より願っています。

また、紙面の都合上、掲載しきれなかった情報は、市議会ホームページに掲載いたしますので、そちらもぜひご覧になってください。

#### 広報広聴委員会

- |        |       |
|--------|-------|
| 委員長    | 山口 剛一 |
| 副委員長   | 木下三枝子 |
| 委員     | 会田 吉幸 |
| 委員     | 平沢 一博 |
| 委員     | 阿部 雅一 |
| 委員     | 奥沢 裕介 |
| 委員     | 中村 貴彰 |
| 委員     | 大里 昇  |
| オブザーバー |       |
| 議長     | 荒木 洋美 |
| 副議長    | 吉田 稔  |

〒344-8577

埼玉県春日部市中央七丁目2番地1

春日部市議会

TEL 048-736-1111 (代表)

内線7615

